

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	竹林撃退で地域活性化プロジェクト
事業主体 (連絡先)	豊丘村
事業区分	(5)環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,861,324 円 (うち支援金: 1,929,000 円)

事業内容

竹林による景観の悪化や、地域活性化のため、『竹林撃退で地域活性化プロジェクト』を行いました。

【1. 破砕機購入】

竹パウダー加工機能付き破砕機を購入し、地域住民が行う竹林整備時に貸出しを行いました。

【2. 竹パウダー活用】

道の駅運営会社の(株)豊かな丘と協力し、道の駅内農産物直売所へ出荷している生産者へ竹パウダーを提供、効果検証を行いました。

【3. 竹の湯プロジェクト】

竹を燃料としてお湯を沸かすことのできる竹ボイラーを購入し、そのお湯を活用する足湯を購入しました。地域住民が燃料用の竹を運搬しやすくするために、竹専用運搬枠を制作、購入しました。



【地域住民による竹林整備の様子】

事業効果

①地域住民の高齢化により、伐採した竹の持ち出しや加工が困難となり、竹林整備事業の縮小を余儀なくされている地域でも、破砕機を購入することにより、現場での竹パウダーへの加工が可能となり運び出しや、伐採後の竹処理の負担が軽減されました。また、竹運搬枠を貸し出すことで、竹ボイラーの燃料用にカットされた竹の持ち運び、保管、管理を容易に行えるようになりました。

②竹パウダーの活用や竹の湯プロジェクトを進めることで、行政としても竹林整備を進めていくという姿勢を示すことができ、地域住民の竹林整備に対する意欲向上に繋がりました。このことにより、前年度比で竹林整備事業件数7件増、補助金支出額が約20万円増となり、過去最大規模となりました。

③伐採した竹を竹パウダーに加工し、モニターを募集したことで、処理に困っていた竹を活用できるという意識を農産物直売所生産者へ広げることができました。

【目標・ねらい】

- ①竹林整備の作業効率化
- ②竹林整備に対する村単補助事業の活用増
- ③竹パウダーによる伐採竹の活用方法開拓

※自己評価【B】

【理由】

処理能力の高い破砕機を購入することで、処理の負担が軽減されました。また、竹林整備に対する助成だけでなく、伐採した竹を有効活用することで、地域住民の竹林整備に対する意欲向上に繋げることができました。

今後の取り組み

今後は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施できなかった、竹の湯プロジェクトを再開し、地域住民が伐採、運搬してきた燃料用の竹に対しての補助も行うことで、竹林整備に対するさらなる意欲向上に繋げていくとともに道の駅や、新設される観光拠点施設の誘客を図ります。

また、竹パウダーによる土壌改良の効果の検証、研究を進め、道の駅直売所へ出荷される農産物の品質を向上させることで、道の駅への来場者数の増加と農家の意欲の向上も狙い、地域活性化へつなげていきます。